

令和2年度

事業計画

一般会計予算



— 目 次 —

I. 令和 2 年度 基本方針	1
II. 令和 2 年度年間活動予定	2
III. 令和 2 年度 事業計画	
1 災害救護体制の強化	4
2 赤十字講習の充実	9
3 青少年赤十字の育成	11
4 国際活動の推進	14
5 救護看護師の養成	14
6 血液事業の推進	15
7 赤十字ボランティアの育成	16
8 効果的な広報の展開	21
9 活動資金の募集及び表彰制度	22
10 奈良県支部有功会	24
IV. 令和 2 年度 一般会計予算	
1 令和 2 年度 一般会計予算	25
2 令和 2 年度 活動資金募集お願い額一覧表	26

I. 令和2年度 基本方針

近年、世界各地で発生する大規模な自然災害、テロや紛争、感染症の流行など、一国では解決困難な国際的課題が急増しており、赤十字が取り組むべき人道的課題が山積しているため、必要な支援を行ってまいります。

日本国内においても、令和元年には台風15号、台風19号などの豪雨災害が発生し、多くの地域に甚大な被害をもたらしました。また、地震、火山の噴火による災害等も頻発しており、さらには、南海トラフ地震が発生する恐れがあると危惧されております。

また、地域医療の再編や地域包括ケアシステムの構築など少子高齢社会における医療・介護をめぐる行政施策が進められ、多様なNPO活動の普及など、日本赤十字社を取り巻く環境は加速的に変化しており、社会における赤十字活動のあり方が問われるようになっていきます。

このため、日本赤十字社では、時代と共に変化するこれからの社会課題やニーズに柔軟に対応し、赤十字の使命を果たし続けていくために、今から10年後に目指す姿やそれを実現するための長期戦略、行動指針等を示した「日本赤十字社 長期ビジョン」を策定しました。具体的な取り組みや目標を整理した3年毎の中期事業計画及び毎年の単年度事業計画を策定し、長期ビジョンの実現・達成を目指すこととし、令和2～4年度の中期事業計画として、「災害や紛争時における支援の充実と※レジリエンスの強化」を救護・社会活動全体における主要な共通テーマとして事業展開をしてまいります。 ※レジリエンス：復興力

また、奈良県支部では、防災ボランティアの協力を得ながら、災害救護体制の更なる強化を図るとともに、自助・共助の重要性を踏まえながら、地域や学校における防災・減災のための取り組みを普及してまいります。

そして、急速に進展する少子高齢社会に対応しながら、いざという時に役立つ赤十字講習や、大切ないのちを救う血液事業の推進など、健康・医療、福祉等に関する活動に取り組みます。

さらに、これらの活動を支えていただいている地域奉仕団をはじめとする赤十字ボランティアや青少年赤十字の育成・強化を図ります。

今後とも、日本赤十字社の使命に基づき、県民の皆さまからお寄せいただく貴重な活動資金を効果的に活用し、以下の取り組みについて、目標を明確にして計画的に推進してまいります。

- | | | | |
|---|-----------|---|--------------|
| 1 | 災害救護体制の強化 | 6 | 血液事業の推進 |
| 2 | 赤十字講習の充実 | 7 | 赤十字ボランティアの育成 |
| 3 | 青少年赤十字の育成 | 8 | 効果的な広報の展開 |
| 4 | 国際活動の推進 | 9 | 活動資金の募集 |
| 5 | 救護看護師の養成 | | |

II. 令和 2 年度年間活動予定

(注記) 令和 2 年 3 月以降の会議、講習会、訓練等の行事は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、安全性が確保されるまで延期又は中止とさせていただきます。
 ご了承方お願い申し上げます。

月 日		名 称	場 所	内 容
4	10	岡山ハンセン病施設訪問延期	岡山県	奈良県人会との交流
	随時	奉仕団地区委員会（4 月～6 月）	各市町村	令和 2 年度支部・奉仕団事業計画
		赤十字事務担当者会議中止	橿原市	令和 2 年度事業計画、活動資金募集の留意点
		安全法指導赤十字奉仕団総会中止	奈良市	令和元年度事業報告、令和 2 年度事業計画
		無線・救護赤十字奉仕団総会中止	支部	令和元年度事業報告、令和 2 年度事業計画
	28	有功会総会延期	奈良市	役員改選、令和元年度事業・決算報告、令和 2 年度度事業計画
5	1～	赤十字運動月間	県内各地	赤十字事業の広報活動、活動資金協力依頼
	1～	近鉄奈良駅前横断幕設置	奈良市	赤十字活動啓発横断幕の設置
	9	救護班基礎研修会延期	支部	救護活動に必要な知識と技術の習得
	10.23.24	水上安全法救助員・養成講習会中止	大和郡山市	水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全 など
	17	県防災総合訓練中止	斑鳩町 河合町	救護所開設、運営など
	20	全国赤十字大会参会中止	東京都	式典：有功章等受章、アトラクション：講演
	随時	地区有功会総会当面延期又は中止	各市町村	令和元年度事業・決算報告、令和 2 年度事業計画
		青少年赤十字賛助奉仕団総会	支部	令和元年度事業報告、令和 2 年度事業計画
		青少年赤十字指導者協議会	支部	
		支部監査委員会	支部	令和元年度事業報告、決算概要
		奉仕団支部委員会	支部	
6	20	第 4 ブロック合同災害救護訓練中止	田原本町 (当番支部)	
		支部評議員会	支部	令和元年度事業報告、決算概要
7	18. 8/1.2	救急法基礎・養成講習会	奈良市	心肺蘇生、AED の使用法、止血・包帯法 など
		献血キャンペーン 7 月～8 月	各市町村	街頭献血呼び込み
		地域奉仕団研修会	葛城市	
		青少年赤十字トレーニングセンター 青少年赤十字指導者養成講習会	奈良市	ボランティアについて、応急手当、フィードバック など

月 日		名 称	場 所	内 容
8	1	災害時要配慮者生活支援講習	支部	知って役立つ知識、非常食作り、応急手当 など
	8～10	健康生活支援講習支援員養成講習	支部	高齢者の健康と安全、地域における高齢者支援 など
	22.23	幼児安全法支援員養成講習	支部	子どもの応急手当、一次救命処置 など
9	19	赤十字フェスタ 2020 in なら	大和郡山市	赤十字事業のPR 活動 など
10	17.18.31 11/1.3.7.8 12/5.6	健康生活支援講習指導員養成講習	支部	
		看護専門学校推薦入試	支部	
12	1～	NHK 海外たすけあいキャンペーン	各市町村	街頭募金、NHK 奈良放送局での受付 など
		有功会連絡協議会	奈良市	地区有功会活動報告 など
		救急法基礎・養成講習会	橿原市	心肺蘇生、AED の使用法、止血・包帯法 など
		奈良マラソン救護	奈良市	救護活動
		青少年赤十字児童生徒交流会	奈良市	NHK 海外たすけあい募金、赤十字学習
1	1～	はたちの献血キャンペーン 1 月～2 月	各市町村	街頭献血呼び込み
	17	災害時要配慮者生活支援講習	支部	知って役立つ知識、非常食作り、応急手当 など
2	3～5	健康生活支援講習支援員養成講習	支部	高齢者の健康と安全、地域における高齢者支援 など
		奉仕団支部委員会	支部	令和 2 年度事業中間報告、令和 3 年度事業計画
		支部評議員会	支部	令和 3 年度事業計画、予算概要
		救急法基礎・養成講習会	大和郡山市	心肺蘇生、AED の使用法、止血・包帯法 など
	24.25	幼児安全法支援員養成講習	支部	子どもの応急手当、一次救命処置 など
3		近畿大学農学部赤十字奉仕団総会	奈良市	活動報告、役員改選 など
		有功会理事会	奈良市	役員改選、有功章社員加入状況等報告
		看護奉仕団研修会	支部	災害時における看護活動の技術習得 など
		防災ボランティア研修会	支部	災害時におけるボランティア活動の技術習得 など
未定		こころのケア研修会	支部	

III. 令和2年度 事業計画

1 災害救護体制の強化 ―災害からいのちを守る―

国内において、地震や大型台風などの災害で被災された方々を救うため、救護班の編成と訓練、救護資機材・救援物資の整備、防災ボランティアの研修など、災害救護体制の強化を図ります。また、被災された方々のための義援金の募集活動も行います。

(1) 救護班の編成等

- ① 日本赤十字社では、災害時に備えて、赤十字病院の医師、看護師などを中心に編成される医療救護班を各都道府県で編成しています。奈良県支部では、県内の病院へ委託契約を結び、医療救護班を編成しています。

医療救護の研修として、災害医療コーディネータを中心に奈良県支部と委託契約を結んでいる医療救護班要員（医師、看護師、主事等）の研修会（救護班基礎研修、こころのケア研修）を支部主催で実施します。

また、本社主催の研修会（全国救護班研修、災害医療コーディネート研修、原子力災害対応基礎研修）にも参加していただきます。

【医療救護班】

名 称	班数	備考
地方独立行政法人奈良県総合医療センター	2 班	平成 26 年 4 月 1 日委託契約締結
地方独立行政法人奈良県西和医療センター	2 班	〃
南奈良総合医療センター	1 班	平成 28 年 4 月 20 日委託契約締結
市立奈良病院	1 班	平成 26 年 4 月 1 日委託契約締結
大和高田市立病院	1 班	平成 26 年 9 月 1 日委託契約締結
奈良県立医科大学附属病院	1 班	平成 28 年 11 月 1 日委託契約締結
合計	8 班	

※1 班の体制：医師 1 名・看護師 3 名・主事 1 名・調整員 1 名 計 6 名



▲日赤災害医療コーディネータを委嘱



▲救護班基礎研修：支部主催



▲こころのケア研修：支部主催

- ② 県内で災害が発生した際に対応できるよう、災害医療コーディネータとの調整を行い、災害に対応できる体制を構築します。
- ③ 大規模災害が発生した際、支部の備蓄のみでは十分な活動ができないことから、迅速かつ的確な災害救護を実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時物資支援協定に取り組みます。
- ④ 防災・減災教育事業として赤十字防災セミナーを実施。自治会等地域住民を対象にボランティアの協力を得て、※¹ 災害エスノグラフィー、※² 避難所運営ゲーム、非常食作り、身近なものを利用した応急手当などニーズに応じて実施し、地域における自助・互助・共助の力を強化します。



▲災害エスノグラフィー



▲災害図上訓練（DIG）



▲ラップを利用した応急手当

※¹ 災害エスノグラフィー

過去の災害を追体験するための読み物で、読むことにより災害の全体像を理解し、次に何が起こるかを想像するための力を養う。

※² 災害図上訓練（DIG）

地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所の把握・理解し、個人や地域で予め行うべきことを検討する。

(2) 救護資機材・救援物資の整備

- ① 南海トラフ地震などの大規模災害に備え、奈良県支部において、救護所用大型テント・災害救護車輻・衛星電話などの救護資機材の整備及び、医療救護班の派遣等に必要な非常食の備蓄などを行ってきましたが、令和元年度から令和3年度の3カ年計画で、救護資機材の更新と救護班要員装備品の整備を重点的に行います。



▲災害救護車

【更新予定表（3カ年計画）】

令和元年度	令和2年度	令和3年度
・救急車及び災害救護車 ・災害救護車（地区区分配備） ・救援物資(ブルーシート・布団) ・非常食の備蓄 ・救護服、救護班用Tシャツ ・タブレット ・デジタルカメラ ・ポータブルLED作業灯 ・AEDバッテリー ・ターニケット(止血帯) など	・災害救護車(貨物タイプ・軽タイプ) ・災害救護車（地区区分配備） ・無線機(基地局、車載器など) ・災害用移動式エアコン ・テント ・救援物資(ブルーシート・布団) ・非常食の備蓄 ・折畳診察台 ・LEDバレーン投光器 ・インバーター発電機 ・血圧計 ・トランシーバー など	・災害救護車（地区区分配備） ・救援物資(ブルーシート・布団) ・エアテント ・救護班靴 ・災害用ヘルメット ・災害用テレビモニター ・AED本体 ・備蓄水 など

- ② 救援物資（布団、安眠セット、緊急セット、毛布、タオルケット、バスタオル）の備蓄と配布を引き続き行うとともに、熊本地震災害でニーズが多かったブルーシートについても備蓄します。

また、不慮の火災などで亡くなられた被災者には弔慰金（1人当たり20,000円）を届けます。



▲毛布



▲安眠セット



▲緊急セット



▲ブルーシート



▲タオルケット

【救護資機材の整備】※()内の数字は、令和２年度に新たに追加・更新整備を予定しています。

— 奈良県支部 —

品名			数量	品名			数量
救護班要員装備品	携帯医療セット		5	救護所資機材	大型フレームテント	2	
	救護班要員携行バッグ		30		大型エアーテント（ハイブリット式）	1	
	医療資機材携行用鞆(1セット4バッグ)		7		エアーテント(大 1・小 1)	2	
	パルスオキシメータ		9		組立式テント	12	
	電子体温計		20		ワンタッチテント(大 3・小 4)	7(7)	
	ターニケット(止血帯)		50		プライベートテント	1	
	自動体外式除細動器(AED)		3		間仕切り用ブラテーション(2 種類)	30	
	救護服：上下		196		簡易トイレ	2	
	救護服：雨衣		30		簡易トイレ用ワンタッチテント	4	
	救護服：防寒衣		30		自家発電機(ガソリンタイプ)	9(4)	
	救護服：Tシャツ		110		水銀灯付発電機	1	
	防護メガネ		20		蓄電池	1	
	防塵マスク		10		投光器	7(5)	
	LEDヘッドライト		10		誘導灯	6(1)	
	懐中電灯		10		冷暖房機器 (冷暖房器：3、暖房器：1、冷房器：3)	7(2)	
	ペンライト(ホルダー付)		30		診療用机・椅子	1	
	寝袋		50		診察台	4	
	万能ハサミ		20		折畳式寝台	80	
	ホイッスル		50		キャンバスベッド	6	
	非常食：アルファーマ(50 食)		12		傷病者用毛布	70	
	非常食：ビスケット		37		担架	15	
	非常食：ドライスープ(2 種)		300		担架架台	10	
	非常食：粥物(2 種)		324		浄水器	1	
	非常食：惣菜(3 種)		169		LED ランタン	10	
	非常食：水(24 本入)		30		拡声器	5	
	非常食：丼物(2 種)		65		リヤカー(大・小)	各 1	
資機材 原子力対応	空間線量率測定用サーベイメータ		1		レスキューカー	2	
	防護服セット		6		移動炊飯器	11	
	デジタル個人線量計		7	通 信 機 器	業務用無線基地局	2(1)	
	NBC 除染資機材セット		1		業務用無線移動局	14(3)	
支援要員資材	ボランティアユニフォーム		40		業務用無線携帯局	21	
	ボランティア反射チョッキ		50		アマチュア無線局	1	
	ボランティア帽子		50		室外設置用外部アンテナ	3	
	防寒衣		59		デジタル通信システム (D-STAR レピーター)	2	
	雨衣（白色・黄色）		50		トランシーバー	10(10)	
災害救護車両	災害通信指揮車（衛星電話搭載）		1		携帯電話	1	
	救急車		1		データ通信端末	1	
	災害救援車		5(2)		デジタルカメラ	3	
	救護資機材運搬トラック		1		タブレット	1	
					衛星携帯電話	3	

— 地区区分(市町村) —

品名		数量	品名	数量
災害対応資機材	災害救援車	54(3)	ワンタッチテント(大)	24
	移動炊飯器	59	自動体外式除細動器(AED)	32
	自家発電機：ガソリンタイプ 1600W	22	自家発電機：ガソリンタイプ	3
	投光機	36	自家発電機：プロパンタイプ	11

【救援物資の備蓄】(令和2年3月末現在)

毛 布	緊急セツ	安眠セツ	布 団	バスタル	ブルーシート	タリセツ
2,837 枚	1,211 セツ	1,132 セツ	396 組 (100)	863 枚	585 枚 (100)	756 枚

(3) 国内義援金及び海外救援金の募集活動

被災者支援のため、各種団体及び各報道機関の協力のもと、国内義援金及び海外救援金の募集活動を行います。

【令和2年度募集の国内義援金】

募集名		募集期限
国内義援金	東日本大震災義援金(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)	令和3年3月31日
	熊本地震災害義援金	令和3年3月31日
	7月5日からの大雨災害義援金	令和3年3月31日
	7月豪雨災害義援金	令和2年6月30日
	令和元年8月豪雨災害義援金	令和2年8月31日
	令和元年台風第15号千葉県災害義援金	令和2年6月30日
	令和元年台風第19号災害義援金	令和3年3月31日

【令和元年度国内義援金受付実績表：令和2年3月末現在】(単位：円)

義援金募集名	件数	金額	募集期限	累計
東日本大震災義援金	107	3,902,860	令和3年3月31日	1,532,427,979
熊本地震災害義援金	69	470,961	令和3年3月31日	145,199,756
7月5日からの大雨災害義援金	11	93,361	令和3年3月31日	14,283,990
7月豪雨災害義援金	112	2,061,347	令和2年6月30日	64,619,534
北海道胆振東部地震災害義援金	77	382,074	令和2年3月31日	6,776,404
8月豪雨災害義援金	134	3,994,133	令和2年8月31日	
京都市伏見区放火事件被害者義援金	4	540,739	令和元年10月31日	
台風第15号千葉県災害義援金	45	4,199,303	令和2年6月30日	
台風第15号東京都義援金	5	62,079	令和2年2月29日	
台風第19号災害義援金	279	19,189,794	令和3年3月31日	
合計	843	34,896,651		

【令和元年度海外救援金受付実績表：令和2年3月末現在】(単位：円)

救援金募集名	件数	金額	募集期限	累計
中東人道危機救援金	4	21,003	令和3年3月31日	164,451
バングラデシュ南部避難民救援金	4	25,007	令和3年3月31日	34,774
モザンビークサイクロン救援金	4	31,791	令和元年6月30日	
合計	12	77,801		

2 赤十字講習の充実 ―いざという時に備えて―

心肺蘇生やAEDの使用方法を学ぶ救急法をはじめ、いざという時にすぐに役に立つさまざまな講習を実施します。また、自治会・町内会など地域防災力を高める活動として、地区分区へ働きかけ、小冊子「災害時の備え」を活用した防災・減災のための講習会を積極的に取り組んでいきます。

また、健康生活支援講習では、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられることを目標に進められている地域包括ケアシステムに貢献できるよう、地域包括支援センター、社会福祉協議会、NPO等と協働して、生活支援・介護予防のための講習普及に努めていきます。

(1) 防災・減災のための講習会

- ① 自治会・町内会等の地域防災力を高める活動として、赤十字防災啓発プログラム「地域で考える災害時の備え」を活用した講習会を、県下各地域で積極的に開催します。
- ② 「災害時要配慮者生活支援講習」として、災害時の避難所で高齢者に及ぼす影響や接するときの心づかいと支援の方法を学ぶ講習会を開催します。
- ③ 短期講習として、学校や地域・団体などで開催するとともに、安全法指導赤十字奉仕団員等を講師として派遣します。また、子育て支援事業として「親子防災教室」を実施します。

講習会区分	実施日	場 所	時 間
地域で考える災害時の備え ・赤十字防災啓発プログラム ・体験プログラム など	随時受付します。	各地域	1日、半日、2時間等 ご希望に対応します。
災害時要配慮者 生活支援講習	8月1日(土)、 令和3年1月17日(日)	支部	9時30分～15時30分
親子防災教室	随時受付します。	各地域	1日、半日、2時間等 ご希望に対応します。



▲冊子
「赤十字防災啓発プログラム」



▲毛布で担架搬送



▲非常食づくり

(2) 救急法等の講習会

救急法講習、水上安全法講習、健康生活支援講習、幼児安全法講習を、講習指導資格を有する安全法指導赤十字奉仕団にご協力いただき、以下のとおり開催します。

令和元年度、県下地域で 311 回開催し、延べ 10,438 人(令和 2 年 3 月末現在)の方に受講いただいています。

【奈良県支部主催の救急法等講習会普及計画】

講習会区分		実施日	場 所	時 間
救急法	基礎講習 及び 救急員養成講習	8 月：基礎 8 月：養成	奈良市	基礎：9 時 30 分～15 時 養成：9 時 30 分～ 17 時 30 分
		12 月：基礎 12 月：養成	橿原市	
		令和 3 年 2 月：基礎 令和 3 年 2 月：養成	大和郡山市	
健康生活 支援講習	支援員養成講習	8 月 8 日(土)～10 日(月祝) 令和 3 年 2 月 3 日(水)～5 日(金)	支 部	9 時 30 分～15 時 30 分
	指導員養成講習	10 月 17 日(土)、18 日(日)、31 日(土) 11 月 1 日(日)、3 日(火祝)、7 日(土) 8 日(日)、12 月 5 日(土)、6 日(日)	支部	
幼児安全法	支援員養成講習	8 月 22 日(土)・23 日(日) 令和 3 年 2 月 24 日(水)・25 日(木)	支 部	9 時～17 時

お申し込みは、奈良県支部事業推進課までお願いします。



▲救急法



▲幼児安全法



▲健康生活支援講習



▲地域包括ケアシステム

3 青少年赤十字の育成 ―思いやりを育む―

(加盟校：129校 幼稚園・保育所：29校 小学校：73校 中学校：16校 高等学校：11校)

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みます。

- ① 学校における防災教育の充実を図るため、県下の全加盟小学校・中学校、高等学校に配布した青少年赤十字防災教育用DVDの積極的な活用を働きかけることと、平成26年度から実施している「青少年赤十字活動支援事業（助成金3万円の交付）」を通じて、青少年赤十字加盟校が取り組む自主的かつ積極的な活動を支援します。

【令和元年度実施実績】

学校名	事業名称	活動内容
奈良市立 飛鳥小学校	飛鳥スマイルキッズ「花いっぱいプロジェクト」	●地域の清掃活動やお世話になっている地域の方々へ子どもたちが育てた花のプレゼント ●空き缶や古着を回収し、リサイクルし限りある資源を大切にする。 ●学校花いっぱいプロジェクトを展開し、季節ごとの花や植物の栽培活動を通じて自然を愛する心情をはぐくむ。
奈良市立 大安寺小学校	みんなで創ろう「笑顔あいさつつながり心の通じ合う学校」	●奉仕活動により、子供たちに自己有用感を高める ●清掃・環境美化活動の推進 ●あいさつ運動の推進
奈良市立 鼓阪小学校	花いっぱい・あいさつ運動	●花壇やプランターの整備 ●清掃・環境美化活動の推進 ●あいさつ運動の推進
奈良市立 東市小学校	東市まるごと笑顔100% 東市入学式プロジェクト	●学校の花壇にチューリップの球根を植え、入学式に新入生を迎えるための学校環境を整える。 ●植栽活動を奉仕作業・清掃活動につなげ、自分たちの力で自分たちが住む環境を整える気持ちを育てる



▲飛鳥小学校
～育てた花のプレゼント～



▲鼓阪小学校
～地域赤十字奉仕団による紙芝居～



▲東市小学校
～学校花壇の整備～

- ② 県内の青少年赤十字未加盟校に対して、募集用パンフレットを活用し、青少年赤十字賛助奉仕団の協力を得ながら未加盟校を訪問し、加盟校の普及に努めます。



▲パンフレット
～加盟登録のご案内～

- ③ 幼稚園、保育園向け防災教育教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を未加盟園に紹介し、加盟普及に努め、配布を希望された加盟園に提供します。



▲防災教育教材

▲防災教育講習

- ④ 「青少年赤十字防災教育推進事業」として、青少年赤十字加盟校並びに新しい指導者を養成するため、県立教育研究所において、小・中学校、高等学校の教諭や養護担当教諭等を対象に、「A E D講習」や「防災講習」などを実施します。



▲防災教育教材

▲避難所 HUG(運営ゲーム)

▲避難所 HUG 研修会

- ⑤ 活動計画などを取り決めるため、奈良県青少年赤十字指導者協議会を開催（随時）します。また、本社主催の青少年赤十字指導者中央講習や指導主事対象青少年赤十字研究会などに参加し、指導者の育成に取り組みます。

⑥ 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターを開催します。

メンバーは2泊3日の集団生活を通じて、リーダーとして必要な自主・自律の精神を身につけ、赤十字や青少年赤十字活動に関する知識や技術への理解を深め、生活態度全般にわたって学びます。また、若い世代の青少年赤十字指導者の養成研修会も同時開催します。(奈良市：7月末)



▲非常食づくり



▲アイマスク体験



▲壁新聞発表

⑦ 他校の児童・生徒と交流を深める青少年赤十字児童・生徒交流会を開催します。また「NHK 海外たすけあい」の募金活動も併せて、近鉄奈良駅周辺やNHK奈良放送局で実施します。(12月下旬)



▲児童・生徒交流会での竹ひごタワー作成



▲「NHK 海外たすけあい」街頭募金

4 国際活動の推進 ―世界とつながる―

世界 192 の国と地域にある赤十字の一員として、本社の要請のもと、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援に協力します。奈良県支部では本社と連携して次の事業を行います。

(1) 緊急救援

- ① 中東人道危機など、海外で発生する大規模災害や紛争等被害者の救援金募集活動を行います。(随時)
- ② 在外日本人及び在日外国人の安否調査に協力します。(随時)



▲中東人道危機

(2) 復興支援

- ① バングラディシュ保健医療支援事業に資金協力します。
- ② 「NHK 海外たすけあい」キャンペーンを実施します。(12月1日～25日)



▲バングラディシュ保健医療事業支援
～衛生教育・保健指導～

(3) 赤十字思想の普及・啓発

- ① イベントでのパネル展示等を通じた国際人道法の普及活動を行います。
- ② 本社、第4ブロック(近畿)主催の国際人道法セミナーに参加します。

5 救護看護師の養成 ―国内外で活躍できる看護師を―

豊かな人間性と看護に関する幅広い能力と、救護の専門知識を兼ね備えた看護の実践者を育成するため、大阪赤十字看護専門学校及び京都第二赤十字看護専門学校(令和3年4月入学生から)に委託し、養成事業を行います。なお、看護大学及び京都第二赤十字看護専門学校を対象に奨学金の支援も行います。

6 血液事業の推進 ― 献血にご協力を!! ―

奈良県赤十字血液センターでは、国民の善意の献血により支えられている血液事業の運営が適切かつ効率的に執行され、透明性が確保されているかを検証し、必要に応じて事業の見直しを図るとともに、積極的な情報発信を行い、採血業・販売業において「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」等の関係法令に則った適正な事業運営を行います。

- ① 安全な血液製剤の安定供給を確保します。
 - ② 献血を受ける患者さんの副作用の軽減、血液製剤の安全性の確保及び事業効率の観点から 400mL 献血・成分献血を推進し、使用実績に応じた計画的な採血に努めます。
 - ③ 若年層を対象とした献血者確保対策を実施します。
 - ④ 広く県民への献血の普及啓発を図るため、ホームページ、Facebook、ラジオ放送、イベント等の展開を基軸とした各種キャンペーンを実施し、効果的な普及活動を行います。
- ・ はたちの献血キャンペーン（1月1日～2月28日）、愛の血液助け合い運動（7月1日～8月31日）、全国学生クリスマス献血（12月）等を実施します。
 - ・ 小学生を対象とした「献血まるわかりゼミ」の開催と、高等学校における「献血セミナー」を実施します。
 - ・ 新聞広報による「はたちの献血キャンペーン」と「愛の血液助け合い運動」の啓発記事を掲載します。（奈良県支部有功会提供）



▲まるわかりゼミ(赤十字フェスタ)



▲学生献血推進協議会キャンペーン



7 赤十字ボランティアの育成 ―活動を支える―

“赤十字ボランティアは、地域社会を住みよくしよう”という気持ちを持った人々の集まりで、災害救護や献血の推進、講習会の普及などの赤十字事業の推進をはじめ、地域社会のニーズに応じた幅広い活動に積極的に参加、協力いただいています。

奈良県支部では、赤十字ボランティアの自主性を尊重し、地域のニーズに応えた魅力ある活動を支援してまいります。

(1) 地域赤十字奉仕団（団数及び団員数：39 団、3,464 人）昭和 23 年発足

市町村の地域ごとに結成され、地域単位で活動計画を立案し、奉仕活動を行います。全体の取組みとして、赤十字事業の普及と推進、ハンセン病施設訪問(岡山県)、地区委員会や研修会などを開催します。また、地域活動では、活動資金への協力を始め、防災訓練やイベントでの非常食づくり・配布への参加、献血協力の呼びかけ、クリーンアップならキャンペーンの参加、海外たすけあい募金活動と受付業務の協力などのほか、老人ホームでの交流や地域での清掃活動等に取り組みます。

① 令和元年度から取り組んでいる「地域赤十字奉仕団活動促進助成金交付事業」をより充実させ、実施してまいります。

地域赤十字奉仕団（分団）が取り組む赤十字活動に対し助成金を交付し、奉仕団の活動を促進することにより、赤十字活動に対する県民の理解を深め、健康で安心に暮らせる共同社会の構築に寄与する奉仕活動を助成します。



▲奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団
～大宮ふれあい農園～



▲奈良市地区赤十字奉仕団精華分団
～防災紙芝居～



▲奈良市地区赤十字奉仕団左京分団
～左京おきがるの食事会～



▲御所市赤十字奉仕団
～防災頭巾贈呈～



▲三郷町赤十字奉仕団
～いきいきふれあいサロン～



▲田原本町赤十字奉仕団
～こども食堂～

- ② 県下全体の事業活動の取組方針を決定するための支部委員会の開催、各地区内の事業活動の取組方針を決定するための地区委員会を開催します。
- ③ 奉仕団中央委員会、奉仕団活動推進会議、支部指導講師研修などに出席します。
- ④ 奉仕団一泊研修会（7月中旬）を実施します。



▲研修会



▲守川医師による講義



▲セラピューティックケア講習

- ⑤ ハンセン病施設訪問事業（岡山県：昭和 27 年からの継続事業）を行います。



▲納骨堂お参り



▲ふれあい交流会

- ⑥ 地域ニーズに応じたモデル奉仕団活動や、独自活動（一日赤十字開催や地域イベントとのコラボなど）のほか、講習普及活動、献血協力の呼びかけ、クリーンアップキャンペーンに参加します。



▲防災イベントでの炊き出し
～大和高田市赤十字奉仕団～



▲ふれあい・いきいき祭での
赤十字 PR 活動～榎原市赤十字奉仕団～



▲クリーンアップキャンペーン
～川西町赤十字奉仕団～

- ⑦ 防災・減災教育事業として、園児・保護者を対象として防災や赤十字運動の紙芝居などを実施し、赤十字思想の普及に努めます。



▲香芝市赤十字奉仕団による防災・減災教育事業（寸げき、紙芝居）

- ⑧ 地域内での「法人会費」及び「災害義援金」の募集活動、「NHK海外たすけあい」の募集活動及び NHK 奈良放送局での受付に協力します。



▲災害義援金募集活動
～天理市赤十字奉仕団～



▲「NHK 海外たすけあい」街頭募金
～生駒市赤十字奉仕団～

- ⑨ モデル奉仕団の指定による活動の充実に努めます。

三宅町赤十字奉仕団（団員：54 人）

【モデル活動名：災害救護に関する活動】

令和元年度から 3 年計画で、防災研修、赤十字講習の受講、炊き出し訓練、一人暮らし高齢者家庭への防災の呼びかけなどに取り組みます

川西町赤十字奉仕団（団員：134 人）

【モデル活動名：地域とともに歩む日赤奉仕団】

令和 2 年度から 3 年計画で、会員募集への支援体制、広報、啓発活動、地域美化活動の共同実施、夏休みこども防災教室の実施、赤十字講習の受講、献血推進キャンペーンへの協力などに取り組みます。



▲三宅町赤十字奉仕団
～万能な風呂敷の使い方～



▲川西町赤十字奉仕団
～ポリ袋を使った非常食づくり～

（2）安全法指導赤十字奉仕団（団員：116 人）昭和 52 年発足

赤十字講習指導員資格を有し、健康で安全に暮らすための知識と技術を伝える講習を普及します。

- ① 赤十字救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法、災害時要配慮者生活支援講習の講習普及とともに、赤十字思想の普及や活動資金への協力依頼や使いみちについての啓発活動等を行います。
- ② 防災・災害救護訓練への参加及び指導的役割を発揮できるよう技術の向上を図ることを目的とした研修会（11 月頃）を開催します。
- ③ イベントなどでの講習普及活動に努めます。



▲総会



▲講習指導

(3) 無線・救護赤十字奉仕団(団員:25人) 昭和47年発足

昭和47年「無線赤十字奉仕団」として発足、平成25年に現在の名称に変更
アマチュア無線技士の資格を生かし、災害時の情報収集や伝達活動になうため、通信
訓練や救護活動を行います。

- ① 非常時の連絡通信体制の整備並びに県下及び他府県との無線伝播調査を実施します。
- ② 防災・災害救護訓練への参加及び一泊研修会(11月頃)を開催します。
- ③ イベントなどでの救護活動や通信連絡活動を行います。
- ④ 第4ブロック(近畿)主催の研修会(11月頃)に参加します。



▲災害救護訓練での通信訓練



▲総会

(4) 青年赤十字連絡協議会(団員:32人)

奈良県青年赤十字奉仕団(7名:昭和60年発足) 近畿大学農学部赤十字奉仕団(25名:平成4年発足)

奈良大学学生赤十字奉仕団(休団:平成24年発足)

勤労青年や大学生で組織され、献血の呼びかけや青少年赤十字のサポートなどの活動
を行います。また、県下の大学等に学生奉仕団の結成を呼びかけます。

- ① 赤十字思想の普及と献血推進、国内外で発生した災害義(救)援金募集活動を行います。
- ② 本社主催のピア・エデュケーション研修会(同年代の若者が命の大切さなどを共に学び
考える活動)、Y A B C研修会 (Youth as Agents of Behavioral Changes) や第4ブ
ロック(近畿)リーダー養成研修会に参加します。
- ③ 防災・災害救護訓練に参加します。
- ④ 青少年赤十字活動のサポートを行います。
- ⑤ 救急法救急員資格の習得に努めます。
- ⑥ 県内の大学や短大へ奉仕団結成の呼び掛けを行います。



▲基礎研修会



▲第4ブロックリーダー養成研修会

(5) 看護赤十字奉仕団（団員：47 人）昭和 48 年発足

看護師の資格を有する人たちで結成され、公共性の高い行事の臨時救護などの活動を行います。

- ① 地域への貢献のため、公共性の高い行事等の臨時救護や付添救護活動を通じて地域活動に協力します。（奈良マラソン、県スポーツ大会、地域イベント等）
- ② 防災、災害救護訓練に参加します。
- ③ 技術の向上を図るための研修会を開催します。（令和 3 年 3 月）



▲奈良マラソンでの救護活動



▲付添救護



▲研修会

(6) 青少年赤十字賛助奉仕団（団員：16 人）

昭和 39 年「賛助会」として発足、平成 14 年に現在の名称に変更

- ① 地域において、地域赤十字奉仕団と連携し、「地域で子どもを育てる」をキャッチフレーズにして、地域の安心・安全活動に取り組みます。
- ② 青少年赤十字トレーニングセンター（奈良市：7 月末）に協力します。
- ③ 本社主催の総会や、第 4 ブロック支部主催の研修会、交流会に参加します。
- ④ 青少年赤十字活動の加盟校増強や防災教育事業普及に協力します。
- ⑤ 青少年赤十字指導者養成事業への協力、助言などを行います。



▲青少年赤十字トレーニングセンター



▲総会

(7) 防災ボランティア（個人登録 16 名）平成 9 年発足

支部に個人登録し、災害発生時における救援活動を行います。

- ① 被災者支援に役立つ知識・技術が習得できる研修会に参加します。
- ② 県主催の防災訓練に参加します。
- ③ 年 4 回の赤十字 NEWS の発送業務に協力します。

8 効果的な広報の展開 ―活動へのご理解とご参加を―

災害救護活動や国際活動など人道的な活動を行っている赤十字の事業内容を、幅広く県民に知っていただき、赤十字ボランティアへの参加、社会貢献のための事業参加、活動資金の募集への理解を深めるため、新聞広告等を通じて、効果的な広報活動を行います。

また、大型商業施設（郡山イオン）にて「赤十字フェスタ」を開催し、赤十字活動のPRを行います。



▲「赤十字フェスタ 2019 in なら」～イオンモール橿原～

（1）支部の広報活動

- ① 日本赤十字社が全国統一で実施する「赤十字会員増強運動月間」(5月)並びに、年間を通じて広報活動に取り組みます。
- ② 運動月間(5月)に近鉄奈良駅前行基広場にて、啓発用横断幕を設置します。
- ③ テレビ放送（運動月間：5月及び随時放送）での広報活動（奈良テレビ、コミュニティビジョン吉野ケーブルテレビ、下市テレビ）も行います。
- ④ 新聞への広告掲載を行います。（運動月間：5月に、赤十字活動の紹介）
- ⑤ 報道機関に対して、支部事業等の開催状況や、本社作成の広報資材をもって広報の協力を依頼します。（随時）
- ⑥ 広報誌「日赤なら」(5月に23万部)及び「支部の活動報告」(中間報告：10月に2万部)を作成します。
- ⑦ 遺贈、相続寄付をターゲットに日経電子版バナー広告による広報活動を行います。併せて、ホームページの更新も行い、各種情報等の発信に努めます。
- ⑧ ハートラちゃん着ぐるみを作成し、イベントなどで活用します。



▲啓発用横断幕
近鉄奈良駅前行基広場



▲ハートラちゃん着ぐるみ



▲「日赤なら」広報誌

(2)地区分区(市町村)への広報活動

各種広報資材を作成し、赤十字事業の普及啓発及び活動資金募集の協力依頼を行います。

- ① 広報誌「日赤なら」（23 万部）を作成し、各自治会等を通じて県民に配布します。
- ② 各地区分区発行の広報誌に、運動月間や講習会開催など記事の掲載を依頼します。
- ③ 各地区分区に本社作成ポスターの掲示とパンフレット配付を依頼します。
- ④ 地区分区に「赤十字パネル展」の開催を依頼します。
- ⑤ 地区分区(市町村)主催イベント(1 日赤十字など)や自治会主催イベント(防災訓練など)に広報パネルやのぼり等資材を貸出ます。



▲天理市地区：赤十字パネル展
～ザ・ボランティア市民活動の集い～



▲橿原市地区：赤十字パネル展
～橿原市ふれあい・いきいき祭り～

(3)第4ブロック（近畿）合同広報活動

- ① 啓発資材（ポケットティッシュ）4 万個を作成します。

9 活動資金の募集及び表彰制度 —活動資金にご協力を!!—

日本赤十字社は、会員等の皆さまから納めていただく会費と、広く皆さまからお寄せいただく寄付金（これら会費と寄付金を総称して「活動資金」という。）を財源として、災害救護活動や国際活動をはじめ、事業計画に基づく人道的活動を展開します。

活動資金の募集を取り巻く環境は厳しいものがありますが、地区分区、赤十字奉仕団、自治会、日赤有功会をはじめ広く県民の皆さまの赤十字活動に対するご理解を深めながら、活動資金へのご協力をお願いしてまいります。

県内の幼・小・中・高等学校への赤十字募金のお願い、個人・法人などへのダイレクトメール発送先の新規開拓、企業の社会貢献活動との連携、企業・団体と災害時協定の締結、災害に備えた救護装備品の寄贈などの協力、広報 PR 活動、遺贈による寄付の周知などに取り組んでまいります。

また、自治会未加入の地域やマンションなどヘタウンプラスによる活動資金の協力依頼を計画的に実施してまいります。

【寄付金付自販機設置状況】

寄付金付自販機設置先	設置場所
奈良県奈良土木事務所	奈良市
杏林会鍼灸整骨院	大和高田市
中造園	葛城市
(有)三輪そうめん天寿堂	桜井市
シンシアペットクリニック	三郷町
(株)RISING SUN	橿原市



▲寄付金付自動販売機



▲募金箱
(有功会連絡協議会補助)



▲赤十字募金資材

【表彰制度について】

多額の活動資金を納入された個人や法人等については、国や日本赤十字社の表彰制度が適用されます。

日本赤十字社の有功章贈与・表彰制度

項 目	表 彰 基 準
1. 支部長表彰状・感謝状	活動資金として一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
2. 銀色有功章	活動資金として一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
3. 金色有功章	活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
4. 本社感謝状（6条）	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円を納められた個人・法人等



▲金色有功章：個人（左：男性 右：女性）



▲金色有功章略章



▲金色有功章(法人)
銀色有功章(個人・法人)

国の表彰制度

項 目	表 彰 基 準
1. 厚生労働大臣感謝状	活動資金として100万円以上を納められた個人 活動資金として 300 万円以上を納められた法人等
2. 紺綬褒章	活動資金として500万円以上を納められた個人 活動資金として 1,000 万円以上を納められた法人等

10 奈良県支部有功会（令和2年度会員数：436人、昭和41年11月結成）

支部有功会は、日本赤十字社の金色有功章を受章された方々が赤十字思想の普及とその事業の推進に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的に結成した団体として活動しています。

また、7地区（奈良市都祁、奈良市月ヶ瀬地区、大和郡山市、王寺町、宇陀地区、橿原市、生駒市）においては、地区有功会が組織され、会員の増強と赤十字事業を通じた地域活動に貢献しています。

- ① 総会(講演会、懇親会も同時開催)を開催します。
- ② 赤十字活動の支援広告を掲載します。(随時)
- ③ 赤十字活動資金の協力、災害等の義(救)援金に協力します。
- ④ 日赤紺綬・有功会会長協議会総会に参加します。(10月：三重県)
- ⑤ 赤十字看護専門学生への一部費用を助成します。
- ⑥ 本社の国際活動資金に協力します。
- ⑦ 地区有功会において赤十字事業の発展に尽くします。



▲有功会総会



▲有功会連絡協議会



▲看護専門学生へ助成



▲地区有功会総会（大和郡山市）

IV. 令和 2 年度 一般会計予算

1 令和 2 年度 一般会計予算

(歳 入)		単位：千円			
区 分		令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増減	付 記
1	社資収入	167,000	215,000	△48,000	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金
2	補助金及び 交付金収入	3,767	6,919	△3,152	本社からの財政調整交付金
3	繰入金収入	1,100	1,100	0	国際救護活動資金繰入
4	雑収入	6,133	4,981	1,152	講師派遣負担金収入、講習用教材費収入等
5	前年度繰越金	20,000	20,000	0	前年度繰越金
歳入合計		198,000	248,000	△50,000	
(歳 出)		単位：千円			
区 分		令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増減	付 記
1	災害救護事業費	34,360	39,150	△4,790	災害に備えた救護装備費、救助費、救護訓練費、救護物資整備費、救護看護師養成費
2	社会活動費	37,430	44,220	△6,790	救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費
3	国際活動費	1,100	1,100	0	バングラディシュ保健医療支援事業
4	指定事業 地方振興費	5,000	3,000	2,000	救護資機材整備費
5	地区分区 交付金支出	16,390	16,390	0	地区分区(市町村)における赤十字活動費
6	社業振興費	34,170	34,030	140	赤十字思想の普及啓発費、活動資金募集費、会員等管理費、全国赤十字大会参加費
7	積立金支出	15,000	50,000	△35,000	災害発生に備えた積立金等
8	総務管理費	26,990	27,050	△60	支部事業管理運営費
9	資産取得及び 資産管理費	1,232	1,232	0	施設管理費
10	本社送納金支出	23,850	29,250	△5,400	本社における国内、国際活動費
11	予備費	2,478	2,578	△100	その他
歳出合計		198,000	248,000	△50,000	

(注)支部評議員会の運営

- (i)支部評議員会は、日本赤十字社定款第71条などの規定に基づき、定数45名の評議員が、支部長の諮問に答えるほか奈良県支部の役員選出及び支部の重要な業務について、審議にあたります。(開催時期 2月、6月)
- (ii)監査委員会は、支部評議員会で選出された支部監査員2名で、奈良県支部の一般会計決算の監査を行います。(開催時期 5月)

2 令和2年度 活動資金募集お願い額一覧表

							単位：円
区分		令和2年度	令和元年度	区分		令和2年度	令和元年度
奈良市地区		40,035,000	40,035,000	高市郡	高取町分区	724,000	724,000
大和高田市地区		7,877,000	7,877,000		明日香村分区	609,000	609,000
大和郡山市地区		9,749,000	9,749,000		計	1,333,000	1,333,000
天理市地区		8,277,000	8,277,000	北葛城郡	上牧町分区	2,388,000	2,388,000
橿原市地区		12,603,000	12,603,000		王寺町分区	2,427,000	2,427,000
桜井市地区		6,146,000	6,146,000		広陵町分区	2,647,000	2,647,000
五條市地区		3,871,000	3,871,000		河合町分区	2,007,000	2,007,000
御所市地区		3,509,000	3,509,000		計	9,469,000	9,469,000
生駒市地区		11,390,000	11,390,000	吉野郡	吉野町分区	1,114,000	1,114,000
香芝市地区		5,690,000	5,690,000		大淀町分区	1,972,000	1,972,000
葛城市地区		3,197,000	3,197,000		下市町分区	822,000	822,000
宇陀市地区		3,659,000	3,659,000		黒滝村分区	128,000	128,000
地区扱計		116,003,000	116,003,000		天川村分区	239,000	239,000
山辺郡		401,000	401,000		下北山村分区	197,000	197,000
	山添村分区				上北山村分区	112,000	112,000
生駒郡	平群町分区	1,927,000	1,927,000		川上村分区	302,000	302,000
	三郷町分区	2,558,000	2,558,000		東吉野村分区	341,000	341,000
	斑鳩町分区	2,861,000	2,861,000		計	5,227,000	5,227,000
	安堵町分区	881,000	881,000				
	計	8,227,000	8,227,000	吉野西	野迫川村分区	84,000	84,000
磯城郡	川西町分区	900,000	900,000		十津川村分区	601,000	601,000
	三宅町分区	777,000	777,000	計	685,000	685,000	
	田原本町分区	3,032,000	3,032,000	分区扱計		30,539,000	30,539,000
	計	4,709,000	4,709,000	地区分区扱計※		146,000,000	146,000,000
	曽爾村分区	216,000	216,000	支部扱計		10,000,000	9,000,000
宇陀郡	御杖村分区	272,000	272,000	(一般社資合計)		156,000,000	155,000,000
	計	488,000	488,000	(法人社資合計)		11,000,000	60,000,000
				社資合計		167,000,000	215,000,000

※ 「地区分区扱計」146,542,000 円の内、542,000 円は切り捨てて「支部扱計」に含んでいます。